

# くみやま

平成30年  
11月1日号

No.  
152

発行/京都府久御山町議会



## 9月定例会

農業者などへ復興支援 .....	2
防災など8議員が一般質問 .....	8
委員会の先進地視察報告 .....	17
このまちこのひと 阪部慎太郎 さん .....	20

[表紙写真: 祭りだ! ワッショイ!! (佐古 秋祭り)]

## 12月定例会(予定)

12月 7日 (金)	開 会
12月19日 (水)	一般質問
12月20日 (木)	予 備 日
12月25日 (火)	閉 会

※日程は変更することがあります。

台風  
被害

# 農業者などへ 復興支援

## 補正予算可決

9月定例会

9月7日～  
9月25日

9月定例会は、議員から決議、町長から人事や平成29年度会計決算認定、平成30年度補正予算、条例制定などの提案があり、常任委員会で各所管事項の議案を審議しました。

決算認定は、十分な審議が必要となるため、決算特別委員会を設置して、後日調査することになりました。

また、「決算」以外を採決した結果、いずれも可決しました。  
一般質問には、8議員が登壇し、町政をたえました。

※ 決算審査はP5、常任委員会レポートはP6・7をご覧ください。

### 条例の制定・改正

●ふるさと応援基金の設置、管理及び処分に関する条例制定

ふるさと納税の寄附金の効率的な運用を図り、用途を明確化するために、基金設置の条例を制定する。

●町税条例等の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い、個人所得課税の見直しなどを改正する。

#### 【主な内容】

- ・ 個人住民税の見直し
- ・ 町たばこ税の税率改正など
- ・ 法人町民税法人割の税率改正
- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

放課後児童支援員の資格要件の拡大と教員免許の明確化を図るため、所要の改正をおこなう。

●家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

家庭的保育事業などで、代替保育を提供するための連携施設を確保するのが難しい場合は、要件が満たせば確保義務を緩和するなど、所要の改正をおこなう。

### 契 約

●佐山小学校体育館改修工事請負契約の締結

契約金額 6296万円

契約先 株式会社城南開発興業

#### 【主な内容】

- ・ 改修工事（外壁、建具など）
- ・ 電気工事（照明器具取替えなど）
- ・ 機械設備工事（屋内外の排水設備改修など）

# 補正予算

## 〔一般会計(第3号) 専決処分〕

6月18日に発生した大阪北部地震の影響で、施設の修繕などに必要となった費用を補正する。

### 【主な内容】

◆佐山小学校プールブロック塀改修工事 912万円

※専決処分・・・地方自治法第179条により町長が特に緊急を要するとして、議会の議決を経ずして処分すること。

## 〔一般会計(第4号)〕

### 【主な内容】

◆システム運用管理事業 124万円

# 人事

## 教育委員会教育長

山本 悦三氏(再任・藤和田)



## 教育委員会委員

阿部 拓児氏(新任・栄)

坂正義氏の任期満了に伴い、新たに任命することに同意しま

した。  
任期は平成30年10月1日から4年。

## 公平委員会委員

黒川 由美氏(新任・田井)

岡本幸子氏の任期満了に伴い、新たに選任することに同意しました。任期は平成30年10月1日から4年。

## 固定資産評価審査委員会委員

藤村 剛史氏(新任・栄)

田中裕巳氏の任期満了に伴い、新たに選任することに同意しました。任期は平成30年9月20日から3年。

マイナンバーに旧姓名を併記して使用するためのシステム改修費用

## ◆公会堂等の新增改築補助

187万円  
地震の影響を受けて、市田公民館、下津屋公会堂の改築費用などを補助

## ◆ブロック塀等の対策補助

632万円  
地震による個人所有のブロック塀撤去や植栽による緑化推進などに要する費用を補助

## 〔一般会計(第5号)〕

台風20号による久御山中学校南側の屋外フェンスの改修などに必要な費用を補正する。

## ◆中学校フェンス改修工事

941万円

## 〔一般会計(第6号)〕

台風21号による農業用パイプハウス倒壊などで、農業者への復興支援として、パイプハウスなどの復旧や撤去に必要な費用を補正する。

## ◆農業者復興支援

4637万円

## 平成30年度補正予算

\* 万円未満四捨五入 (▲ = 減額)

区分	補正額	補正後の額	
一般会計 (第3号〈専決処分〉・第4号・第5号・第6号)	2億3852万円	73億6434万円	
特別会計	国民健康保険(第1号)	2254万円	21億4314万円
	三郷山財産区(第1号)	212万円	653万円
	介護保険(第1号)	7712万円	14億3592万円
	後期高齢者医療(第1号)	1146万円	2億2536万円
水道事業会計 (第1号)	収益的収入	▲130万円	5億2978万円
	収益的支出	▲96万円	5億7490万円
下水道事業会計 (第1号)	収益的収入	8万円	8億777万円
	収益的支出	▲81万円	7億7534万円

## きて・みて・議会 & ちよこつと懇談会

日時: 11月3日(土) 午前11時～午後2時



議会棟で参加をお待ちしています!

## 決議

内田議員から提出された決議は、本会議で賛成多数で可決されました。

### ●2025年国際博覧会の誘致に関する決議

#### (提案内容)

2025年に「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする国際博覧会を大阪・関西が一体となつて開催することは、新たな産業や観光のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、全世界に向けて圏域の存在感を示す絶好の機会となり、極めて大きな意義がある。

また、このような国際博覧会の開催は、圏域全体のみならず、京都府における産業振興や観光文化交流等を促進するとともに、府内各地域の振興や住民の生活向上にも寄与することが期待できる。

よつて、久御山町議会は、大阪・関西における国際博覧会の開催を支持するとともに、誘致実現に向けた国内機運の醸成など、必要な取組みを国、大阪府、経済界とともに積極的に推進していく。

## 全議案の採決結果

### 賛否が分かれた議案

(注) 表中の○及び×(太字)は、○=賛成討論、×=反対討論をおこなっています。

○=賛成 ×=反対  
△=退席 -=欠席

議案 / 議員	公明党	共産党		緑風会		くみやまみらい			政策研究会			結果			
	岩田芳一	中野ますみ	巽悦子	塚本五三藏	田口浩嗣	信貴恵太	松本義裕	林吉一	内田孝司	島宏樹	松尾憲		中大介	中井孝紀	
決議	2025年国際博覧会の誘致に関する決議	○	×	×	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事	教育委員会教育長の任命につき同意を求める	○	△	△	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	可決
	教育委員会委員の任命につき同意を求める	○	△	△	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例	ふるさと応援基金の設置、管理及び処分に関する条例制定	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	町税条例等の一部改正	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	都市計画税条例の一部改正	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	放課後児童健全育成事業の設備・運営基準を定める条例の一部改正	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	家庭的保育事業等の設備・運営基準を定める条例の一部改正	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※戸川議長は賛否同数以外は採決には加わりません。

### 全員賛成で可決した議案等

人事	公平委員会委員の選任につき同意を求める	補正予算	国民健康保険特別会計〈事業勘定〉(第1号)
	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求める		三郷山財産区特別会計(第1号)
条例	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例一部改正		介護保険特別会計(第1号)
	介護保険条例の一部改正		後期高齢者医療特別会計(第1号)
契約	佐山小学校体育館改修工事請負契約の締結		水道事業会計(第1号)
補正予算	一般会計(第3号)の専決処分につき承認を求める		下水道事業会計(第1号)
	一般会計(第4号)・(第5号)・(第6号)		

## ◆審査日程

10/1	10/3	10/15	10/22	10/24	10/29
現地調査 (29年度に完成 した工事場所 の現地調査)	部局別審査 (各課の詳細な審査、質疑及び応答)				総括審査 (付託された決 算を委員会で 採決)
	総務部 消防本部 会計課 議会事務局	民生部	事業建設部	教育委員会	

## ◆委員会構成

委員長	岩田 芳一 (公明党議員団)
副委員長	中 大介 (久御山政策研究会)
委員	信貴 恵太 (緑風会)
	松本 義裕 (くみやま みらい)
	松尾 憲 (久御山政策研究会)
	内田 孝司 (くみやま みらい)
	巽 悦子 (日本共産党議員団)

9月定例会に提出された平成29年度の各会計決算認定7議案は、十分な時間とより詳細な審査をおこなうため、決算特別委員会を設置しました。審査の日程及び内容は左記のとおりです。



## ■平成29年度会計決算 (予定)

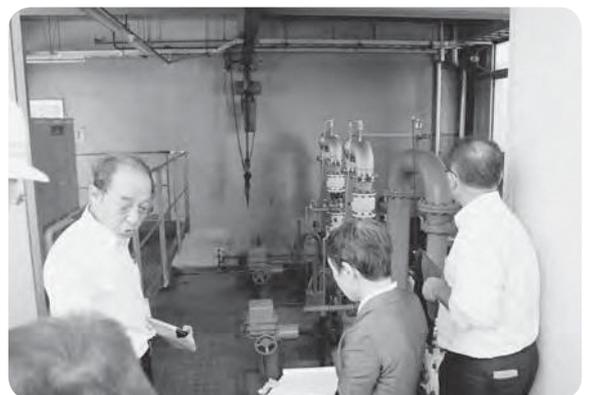
区 分		歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計		79億5391万円	77億2653万円	2億2738万円
特別会計	国民健康保険	25億4107万円	25億1553万円	2554万円
	三郷山財産区	458万円	426万円	32万円
	介護保険	13億4535万円	12億7205万円	7330万円
	後期高齢者医療	2億1834万円	2億 682万円	1152万円
水道事業会計	収益的収支	5億5357万円	5億4926万円	431万円
下水道事業会計	収益的収支	8億2252万円	7億5807万円	6445万円

\* 万円未満四捨五入

**決算審査**  
予算が適正に使われていたのか、成果はどうだったのかなどを調査します。  
また、この審査で実施した事業などを、単に終了したことにするのではなく、今後の町行政のあり方や予算の使い方の改善に役立てるなど、重要な意義をもちます。  
なお、12月定例会で最終審議となります。  
\* 現地調査の写真 (下)



新設された中学校給食室



更新された2台の配水ポンプ (佐古浄水場)

# 総務事業常任委員会レポート

9月定例会の常任委員会では、9月13日に各課から議案の説明をうけて、審議をおこないました。主な質疑応答を報告します。

## ブロック塀等撤去の補助は

**Q** 住民のブロック塀撤去などへの補助制度が新設されるため、補正予算が計上され、併せて自治会への補助も計上されているが、どのような補助か。

**A** 自治会への補助は、佐山・佐



共同墓地のブロック塀

古・林共同墓地のブロック塀改修補助で、環境整備補助として、総事業費のうち2分の1を支出するもの。

## 台風12号被害への復興支援は

**Q** 今回の補正予算は、台風12号の被害による復興支援となるが、その基準は。

**A** 補助の採択基準は、全壊・大破・中破などで、パイプハウスの撤去への取組みなどがあげられる。

対象者は、農業者が組織する団体や農業協同組合などとなる。

**A Q** 今回の復興支援の対象件数は。ビニールハウス1棟の被害とその付帯設備1件の合計2件を見込みとして計上している。

## 閉会中の継続調査 7月30日

### 防災について

閉会中に継続しておこなった事務調査を報告します

### 風水害の避難情報の発令を知る

本町が、風水害で避難情報を発令するタイミングと判断基準は、河川水位・ダム情報・気象情報など、様々な情報を収集して、以下の①避難準備・高齢者等避難開始②避難勧告③避難指示（緊急）の3種類を発令。

また、住民に求められる行動は、自らの命を守るために的確な状況把握と、できる限りの情報収集が必要となる。

職員は警戒本部や対策本部の設置が決定され、必要な配備体制のもと「災害時行動マニュアル」に基づき、決められた基準で動員される。

### 人の災害心理を知る

災害時に逃走パニックはあまり発生しないので、行政はパニックを考えず、防

## 災害から命を守るため 状況把握と情報収集

災教育を進め、避難を促進する必要がある。次に、災害が発生すると、人に過剰な不安を与え、うわさが広まりやすく過度に恐れる心理が現れる。

災害時のリーダーは行政で、救助という意味では自衛隊・警察・消防。町では、災害時の職員体制を継続して組めるよう取り組んでいく必要がある。



# 民生教育常任委員会レポート

9月定例会の常任委員会では、9月14日に各課から議案の説明をつけて、審議をおこないました。主な質疑応答を報告します。

## 佐山小学校の 体育館改修は

**Q** 佐山小学校の体育館改修期間  
は、体育館が使用できないこ  
とになるが。

**A** 学校のカリキュラム面でも、  
運動会を終わってからの望まし  
いと判断した。

体育館使用の授業は、それま  
でにおこなうなど対応してき  
たので、問題はない。

## 中学校の屋外フェンス 修繕は

**Q** 台風20号の影響で、中学校テ  
ニスコート横のフェンスが傾  
く被害があった。屋外フェン  
スの高さ制限はあるのか。  
**A** 法的には制限はない。土台も

**Q** あるのでフェンスの強度に問  
題はない。  
傾いた原因とその工事期間は、  
フェンス支柱の腐食もあり、  
強い風を受けてグラウンド側に  
傾いた。

**A** 速やかに着工するが、工期は  
2学期中を見込んでいます。



グラウンド側に傾くフェンス

閉会中の継続調査 8月8日

## 久御山町の就学前教育

閉会中に継続しておこなった事務調査を報告します

### 幼児教育の現状と重要性

少子化や働く女性の増加など様々なニーズに対応するため、幼児期の子どもが集団で学び育つ場として、幼稚園と保育所の機能を兼ね備えた「幼保連携型認定こども園」が始まった。本町は、よりよい就学前教育のために、平成30年4月から子ども園へ移行した。

近年、幼児教育が重要視され、子どもに質の高い幼児教育を提供することが、人格形成に効果的と言われている。

### 就学前教育の本質

幼児教育の本質は「教える」ことではなく「育てる」こと。本町でも身近な経験から何かを見い出したり、遊びの中から学ぶことを大切にしている。

0歳から2歳は、身近な人との愛着関

## 遊びを通して学ぶ 幼児教育の本質

係の成立を助ける社会的発達などを支援。

3歳から5歳には、小学校に向けて育みたい3つの資質などがあり、①知識・技能②思考力・判断力・表現力③学びに向かう力・人間性などがある。

遊びを通じた総合的な指導の中、それらを<sup>つちか</sup>培い、小学校までに育ててほしい姿にどこまで近づけたかを、小学校教員と情報共有していくことが大切となる。





**8議員が登壇**

一般質問では、行政全般について執行機関（町長など）の考え方や疑義を質問します。

**一般質問**

**ここが聞きたい**

質問者	質問項目〔質問方法〕	ページ
松本 義裕 議員	① 緊急時における高齢者対応 ② 小中学校施設の維持管理と充実 ③ 新市街地整備の進め方	一問一答 P9
田口 浩嗣 議員	① 認定こども園の運営 ② 防災	一問一答 P10
信貴 恵太 議員	① 不妊治療 ② 財政状況	一括質問 P11
中野ますみ 議員	① 防災 ② 通学路の安全性	一問一答 P12
岩田 芳一 議員	① 乳幼児健康診査 ② 総合体育館の空調設備	一問一答 P13
中井 孝紀 議員	① 被災者への支援 ② 新市街地整備事業	一問一答 P14
松尾 憲 議員	① 危機管理体制 ② 在住外国人の生活支援	一問一答 P15
巽 悦子 議員	① 災害時の対応と罹災者への支援 ② 公契約条例の策定	一問一答 P16

**一括質問** 議員の質問時間の制限はなく、質問回数は2回まで

**一問一答** 一つの事項を深く掘り下げて何度でもできる。議員の質問時間は30分以内。

**定例会の映像配信**

久御山町議会ホームページからライブ中継と録画映像がご覧いただけます。



議会だより・会議録はこちら

久御山町議会





松本 義裕 議員

一問一答方式

**Q** 室内にいたり、耳が不自由な方への伝達は

**A** 視覚的な伝達も必要

質問

防災行政無線を設置されるが、室内にいたり、耳が不自由で聞こえない方への伝達は。また、停電やガス漏れが起こった場合、すぐに対処できるようにするべきでは。

町長

文字表示機能付き戸別受信機能など、視覚的に伝達する方法も必要。

総務課長

ハザードマップの更新を考えており、住民の方に必要な緊急連絡

先や公共機関の連絡先も記載し、今年度中に全戸配布したい。

**Q** 学校内の排水施設の抜本的な改修は

**A** 早急に調査・検討する

質問

町内の学校では、グラウンド内の排水路は、全部砂で埋まっていたり、流末もわからない状態。

学校内の排水施設を徹底的に調査し、抜本的な改修をおこなうべきでは。

教育次長

抜本的な改修について、早急に調査・検討したい。

質問

小中学校の体育館は、エアコンや空調設備、換気扇や扇風機などもなく換気すらままならない。

エアコン及び空調設備の設置は、教育や災害時など、様々な面から考えても意義があるが。



機能していない排水施設 (佐山小)

教育長

換気扇の設置など、熱中症などの予防対策は講じていく。

町長

効果は十分承知をしているが、平成32年度中に策定する公共施設全体の長寿命化計画の中で協議をしていく。

**Q** 新市街地整備のPRは

**A** 「みなくなるタウン」と仮称し、発信する

質問

新市街地整備におけるビジョン

は。町民の皆さんをはじめ、多くの方々にPRをしていく必要があるが。

町長

新市街地整備については、本町を支える産業の発展と人口の維持の両方を積極的に進めるため、その中核をなす事業であると位置づけている。

みんなが来るまちにしたいという期待と、奇跡を呼び起こしたいまちという思いを込めて、奇跡の「ミラクル」と「みんなが来る」を合わせて「みなくなるタウン」と仮称し、住民の皆さんをはじめ、全国に向け発信していく。



新市街地整備計画 (案)



田口 浩嗣 議員

一問一答方式

Q 今後、東角や御牧こども園の公設民営化・民設民営化は

A 仕組みの移行を考え、方向性を検討する

質問

今年4月から、さやまこども園は、新たにスタートした。今後も東角や御牧の各こども園で本園と分園がひとつになる。

佐賀県白石町では、公設民営化や民設民営化を実施している。

財政的にも厳しい中、本町でも考えられないのか。

学校教育課長

本町の幼保連携型認定こども園では、公設民営方式では法的に困難。ただし、民間のノウハウを活

用する手法として、公私連携幼保連携型認定こども園への移行は考えられる。

民営化は、町の財政状況はもとより、課題を分析し方向性を検討する必要があると考える。

Q こども園に療育教室併設の考えは

A 実情を踏まえて努力する

質問

こども園の増設工事に伴い、療育教室の療育環境の充実を検討し、こども園に併設の考えは。

子育て支援課長

園内に療育教室を設置した場合、メリットもある一方で、デメリットも生じる。

民生部長

現在の療育教室の実情を踏まえて、一層、質の高い療育を提供し、課題があれば、解決に向けて努力する。

Q タイムラインを早急に作るべき

A 作成に鋭意取り組む

質問

毎年、ゲリラ豪雨や大型台風、

地震と、想定外の災害が起こっている。災害前の準備や各種団体の連携など、全てを兼ね備える施策がタイムライン。京都府知事も、避難行動タイムラインを重視され、各種団体全てにタイムラインを作ることを重視している。

特に、各自治会にあつたタイムラインを早急に作るべきでは。

総務課長

タイムラインとは、住民の方がみずからの判断で自発的に避難行動などをとり、いつ、誰が、何をするのか定めておく計画である。

京都府が平成30年5月に、水害等避難行動タイムライン作成指針を作成。

地域のタイムライン作成に向けて町も支援し、地域住民と一緒に

考え作成し、効果を高める。

質問

今年度は昭和28年の水害から65年目となる。今後も災害がくると想定し、地域のタイムラインを早急に進めて振り返り、反省点の改善対策をおこなうべきだ。

町長の防災に対する見解は。

町長

昭和28年の水害から65年目となる今年度に、防災行政無線では、町内19カ所にスピーカーを設置するなど、ハードの防災力強化事業に取り組んでいる。

地域におけるタイムラインの作成は、強く必要性を感じる。

国・府、関係団体の協力を得る中で、効果的なタイムラインの作成に、鋭意取り組んでいく。

行動	防災委員	父	母	子供
1 事前	防災委員としての準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 事前	防災委員としての準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 事前	防災委員としての準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 事前	防災委員としての準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 事前	防災委員としての準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 事前	防災委員としての準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 事前	防災委員としての準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 事前	防災委員としての準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 事前	防災委員としての準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10 事前	防災委員としての準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11 事前	防災委員としての準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12 事前	防災委員としての準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13 事前	防災委員としての準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14 事前	防災委員としての準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15 事前	防災委員としての準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16 事前	防災委員としての準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17 事前	防災委員としての準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18 事前	防災委員としての準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19 事前	防災委員としての準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20 事前	防災委員としての準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

台風に備えたタイムライン (イメージ)



信貴 恵太 議員

一括質問方式

**Q** 専門医に相談できる場所の提供は

**A** 悩みを解消できるように応援していきたい

**質問**  
不妊に悩まれて相談にいられた方の対応をどこまでおこなっているのか。

子育て支援課長

助成制度の相談は、電話や窓口などでおこなっている。

治療の相談は、可能な限り答えたいうえで、より専門的なアドバイスが必要であると判断される場合は、京都府が開設している、妊娠出産・不妊ほっとコールなどを紹介している。



不妊治療についてのセミナー

治療に関する相談は、ほとんどののが現状である。  
これは、相談内容が専門性・個性が高く、直接、医療機関に相談される場合が多いためと考えている。

**質問**

小さな町だからこそ、また日本全体の出生率を上げるという意識づけからも、本町で専門医などに相談できる場所の提供は。

子育て支援課長

不妊症や不妊治療に悩まれている方の悩みを解消できるように応援していきたいと考えている。

**Q** 今後の財政運営は

**A** 戦略的な行財政経営に取り組んでいきたい

**質問**

実質単年度収支の赤字が、平成27年度から黒字に転換することができた要因は。

行財政課長

一つは、行政改革に基づく各施策の効果があらわれているのではないかと考える。

引き続き、行政改革を推進するとともに、税収を上げるための新市街地整備への先行投資など、健全な財政運営に努めていきたい。

**質問**

47年間続いている不交付団体であることについて、今後の財政運営は。

町長

普通交付税不交付団体として実施している、子育て支援の医療費

5年間の一般会計決算収支の状況

(単位：千円)

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
予 算 額	6,917,709	6,714,708	6,716,046	7,508,748	7,878,228
歳 入 総 額	6,909,992	6,757,097	6,961,979	7,348,907	7,953,907
歳 出 総 額	6,701,663	6,522,521	6,689,011	6,983,626	7,726,530
歳入歳出差引額	208,329	234,576	272,968	365,281	227,377
翌年度繰越財源額	12,931	8,046	29,656	78,825	0
実 質 収 支 額	195,398	226,530	243,312	286,456	227,377
単 年 度 収 支 額	▲ 9,890	31,132	16,782	43,144	▲ 59,079
実 質 単 年 度 収 支 額	▲ 192,124	▲ 211,063	199,996	194,829	3,267

(注) 予算額は、前年度からの予算繰越額を含めたものである。

助成や小中学校保護者負担の軽減、のってこタクシー等移動支援策などの町独自の住民負担軽減策をできるだけ堅持しつつ、「くらしを守る安全・安心のまちづくり」、「みらいに進化するまちづくり」、「やすらぎのまちづくり」、「まなびと文化のまちづくり」に重点的な予算配分をおこなう。  
そして、限られた財源を有効かつ効率的に活用し、戦略的な行財政経営に取り組んでいきたい。



中野ますみ 議員

一問一答方式

**Q** 排水機場のポンプを危険水位時に止めるのはなぜか

**A** 計画高水流量を超えると堤防決壊の恐れがあるため

質問

久御山排水機場・巨椋池排水機場は、町内や近隣で降った雨は、古川や巨椋池排水路を経由して東一口地区に集まり、宇治川に排水することが役割である。

排水機場のポンプを、宇治川が危険水位になると止めるのはなぜか。

都市整備課長

計画高水流量を超えると、堤防が決壊する恐れがあるため、宇治川への流量を調節する。

操作規則を決めており、一定の水位でポンプの運転を停止する。

質問

ハザードマップに加え、行政や民間などの関係機関と連携して事前防災計画であるタイムラインを作るべきである。

各家庭においてもマイタイムラインの作成を啓発、周知するべきでは。

総務課長

タイムラインを住民自主防災会などと一緒に作っていく事が必要かと思う。

マイタイムラインは、我が家ではどうするかというのを家族が納得して作る必要があることを啓発していきたい。

質問

大人が近くにいないため、子ども自身で身を守らなければならぬ状況が起こらないとも限らない子どもたちへの防災教育はできているのか。

教育次長

学校行事としての避難訓練、ま

た、中学校では災害時の過ごし方や身の守り方、小学校では風水害等の勉強をしている。

質問

避難場所として小・中・高校等が指定されているが安全なのか。また、避難所開設運営訓練はされているのか。

総務課長

浸水想定の水位以上の上の階に避難者を収容することが、可能となっている。構造も堅固なので施設的には安全と思っている。

過去に避難所運営図上演習を自治会・校区自主防災・職員合同で実施したことはある。

**Q** 高いブロック塀の点検・撤去の指導は

**A** 京都府に指導権限がある

質問

通学路にも高く積みあげられた

ブロック塀に面している所がある。設置基準や規定、また、点検や撤去の指導はしているのか。

都市整備課長

建築基準法で詳細な設置基準が定められている。

学校教育課長

学校教育課の職員が目視による点検を行っている。

都市整備課長

府山城北土木事務所の建築主事に、確認・撤去の指導権限がある。



ブロック塀横を通学する子どもたち



岩田 芳一 議員

一問一答方式

**Q 乳幼児健康診査の  
白色瞳孔を追加しては**

**A 町医の意見を聞き  
検討していきたい**

**質問**

小児の死亡原因の第一位は、小児がんとなっている。発見が難しく進行も早いものが多い。本町の乳幼児健診は現在どのような状況か。

**子育て支援課長**

平成29年度の受診率は、3から4カ月児健診98・2%、10カ月児健診99・1%、1歳8カ月児健診96・9%、3歳児健診89・1%となっており、未受診のお子さんは、訪問など別の形でフォローし、全数把握をおこなっている。

**質問**

小児がんの中には、網膜芽細胞腫しゅという眼のがんがあり、「白色瞳孔」や「斜視しゃし」の症状が現れる。早期発見のため、乳幼児健康診査の、眼の検査項目に白色瞳孔を追加しては。

**子育て支援課長**

小児がんに特化しての取組みとは言えないが、観察項目の中でも特に重要な点は、医師と保健師双方の観察項目として挙げ、見落としがないように努めている。

健診項目は、今後、町医の先生方の御意見もいただきながら、検討したいと考えている。

平成30年度 乳幼児健診等予定表

	実施日	4月	5月	6月	7月
<b>3～4か月児健診</b> 保健センター（子育てがら〜ム） 受付：13時20分～13時40分	実施日 対象生2月1日	17日(火) 平成29年12月生	22日(火) 平成30年1月生	19日(火) 平成30年2月生	17日(火) 平成30年3月生
<b>10か月児健診</b> 保健センター（子育てがら〜ム） 受付：13時20分～13時50分	実施日 対象生2月1日	24日(火) 平成29年5月生	29日(火) 平成29年6月生	26日(火) 平成29年7月生	24日(火) 平成29年8・9月生
<b>1歳8か月児健診</b> 保健センター（子育てがら〜ム） 受付：13時20分～13時40分	実施日 対象生2月1日	20日(金) 平成28年7月生	18日(金) 平成28年8月生	15日(金) 平成28年9月生	20日(金) 平成28年10月生
<b>2歳6か月児歯科健診</b> 保健センター（子育てがら〜ム） 受付：個別通知で案内します。	実施日 対象生2月1日	26日(木) 平成29年5月生・10月生		21日(木) 平成29年11月生・12月生	
<b>3歳児健診</b> 保健センター（子育てがら〜ム） 受付：13時20分～14時20分	実施日 対象生2月1日		25日(金) 平成29年10月生・11月生		27日(金) 平成29年12月生・平成30年1月生
<b>乳幼児相談</b> 保健センター（子育てがら〜ム） 受付：9時30分～10時30分	実施日 会場 保健センター	10日(火)	7日(月)	12日(火)	9日(月)

**Q 総合体育館の空調設備  
について、今後の考えは**

**A 公共施設の長寿命化  
計画の中で協議したい**

**質問**

今年の夏は、異常な気温上昇により、猛暑が続いた。

総合体育館のメインアリーナにはエアコンがないため、大変な暑さであったと思うが、使用状況は。

**社会教育課長**

7月から8月のメインアリーナの使用状況は、7月118件・3772人、8月85件・2270人となった。

主な利用種目は、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、フットサルなどで、例年と同様程度の利用となった。

**質問**

本町において、熱中症で救急搬送された方は、8月までに37人と聞いている。

公共施設等総合管理計画の基本

方針に、「安全にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ環境の充実に努める」とある。総合体育館の空調設備について、今後の考えは。

**教育長**

ここ数年の異常なまでの猛暑と、気候変動をかんがみ、利用者の健康面への配慮という点からは、一つの課題と認識している。

今後の計画については、財政面も含めた整備計画が必要であると考えるので、公共施設の長寿命化計画の中で協議したい。



エアコンがない総合体育館のメインアリーナ



中井 孝紀 議員

一問一答方式

**Q** 早急な復興を図るための支援策は

**A** 府の制度に上乗せを考えている

質問

先の台風21号によって、農業用ビニールハウスなどが壊滅的な被害を受けた。

農家の皆さんも個人での対応に限界を感じており、非常事態を乗り切るための早急な支援が欠かせない。

支援策として、京都府の補助制度に町も上乗せをしていくことで、迅速な対応ができると考えるが、具体的な支援策は。

また、被災者に対する、税の減免制度の相談対応は。

町長

農家の影響は甚大であると受け止めている。

迅速な支援対策の実施が最も効果的であると考えており、本定例会中に緊急に追加提案させていただき、本町の基幹産業である農業の早期復興に向けて国・府と連携して取り組みたい。

具体的には、京都府の制度に上乗せをする方向で考えている。

副町長

ビニールの処分問題については、関係機関と調整をしている。ビニールハウス建設の問題についても、国の組織にハウス資材投入の要請もしている。

農水省や近畿農政局などあらゆる機会を捉えて支援を訴えたり、京都府農業改良普及センターと本町がスクラムを組んで、農業者に寄り添った伴走支援で頑張りたい。

税務課長

災害を受けた方に対する減免の規定や、一定期間徴収を猶予する制度があり、個別に相談を受け丁寧に対応していきたい。



壊滅的な被害を受けたビニールハウス

**Q** 住街区促進ゾーンの整備手法は

**A** 国の優良田園住宅制度を活用する

質問

新市街地整備事業の具体的な整備手法や、先行する東西軸の道路整備の考え方、そして京都府から

の専門的職員の参画など対応の現状は。

また、国は人口減少や空家問題などから新たな住宅専用地域を基本的に認めない方針だが、住街区促進ゾーンの整備手法は。

町長

まちづくりを実現する手法では、地域未来投資促進法や、国の優良田園住宅制度を活用し、ものづくりと農業振興が調和したまちづくりを目指したい。

事業建設部担当三部長

地権者から100%同意を得て、土地区画整理事業によるまちづくりを進めたい。

道路整備については、今年度には道路設計を実施し、整備を検討したい。

また、京都府の農林水産部をはじめ関係機関に参画していただき、本町との情報共有会議として進めている。

優良田園住宅制度は、市街化調整区域における立地基準の規制緩和制度であり、本町が進める農業と調和したまちづくりにフィットする。



松尾 憲 議員

一問一答方式

Q 相次ぐ自然災害、町の危機管理は

A 想定以上の大規模災害に備え危機管理体制の充実に努める

質問

大阪北部地震、西日本豪雨、7・9月の台風、北海道地震と相次ぐ自然災害をどう見ているのか、町民の安心・安全を守る危機管理への見解は。

町長

災害発生件数や規模が増え、想定以上の大規模災害に備えた、危機管理体制の充実が大切。府南部10都市の相互応援協定を締結し、遠隔地の自治体との応援協定を進める。今年度ハザードマップの改

訂や総合防災訓練に取り組み、万全を期して災害対応に当たる。

質問

先の台風では速やかに災害対策本部を設置し対応されたが、本町の危機管理体制は十分か。

副町長

あらゆる危機への予防と対策が重要で、災害対策本部の設置と、町長を本部長として、総務部長を中心に対応する体制である。



台風で倒壊のビニールハウス

質問

災害対策本部の職員の出勤態勢と人員配置は、問題ないか。

総務課長

庁内調査では、1時間以内に7割の職員が集まれる。災害時行動

マニュアルを策定しており、担当外でも対応できると考えている。

Q 危機管理監といった専門職が必要では

A 指揮命令系統の三元化は大切、改善も視野に考える

質問

災害だけでない危機管理全般のキーマンとして、専門職の人材が必要と思うが、その考えは。

副町長

指示命令系統の一元化は大切である。現状、総務部長を中心に担当が、予期しない状況にも対応する組織のあり方は、常に改善を含め、視野に入れて考える。

質問

災害など、非常時の業務を継続させるための、事業継続計画（BCP）はできているのか。

総務課長

平成29年に策定した非常時行動

マニュアルに盛り込み、非常時優先業務を選定、周知している。

Q 外国語版ハザードマップの作成は

A 今年の改訂版で外国語表記を加える

質問

町在住外国人登録493人、また昼間就労外国人が多くおられるが、生活支援を含め窓口への相談事はあるのか。

総務課長・学校教育課長

特に、個別の困りごと相談は聞いていない。

質問

関係者からの声で、非常時に外国語版のハザードマップがあれば助かると聞くが、その予定は。

総務課長

現在、見直しを進めるハザードマップの改訂版に、外国語表記も加える予定で進めている。



巽 悦子 議員

一問一答方式

Q 広域停電事故対策の実態把握は

A 停電を重く受けとめ細部まで詰めていく

質問 台風21号で、地域によっては24時間以上も停電があり、情報がないたため不安がっておられた。



各地で停電をもたらした台風21号

本町広域停電事故対策では、関西電力は被害状況・復旧等を速やかに総務課と消防本部に連絡することのことだが、連絡はあったのか。

総務課長

システムの不具合で送れなかったとお詫びの連絡を関西電力からいただいている。

質問

停電事故対策には、関西電力の活動は、迅速な復旧対策で、町との相互の情報交換、また総務課は総合的な被害状況の把握とあるが。

総務課長

停電の情報収集だが、何件発生しているかもわからなかった。職員による把握だが、電話が随分あった。長い時間の停電や電柱が倒れた情報は把握していた。

質問

停電はライフラインの大きな部分である。広域停電事故対策は机上ではなく、実態を踏まえた作成が必要では。

総務部長

この計画の趣旨「安心・安全」にかんがみて今回を教訓に、関西電力ともやり取りし、町内部でもいつまで停電が続くのか、住民の皆さんにまず情報を伝えること。

停電によって命にかかわることもあるので、そこは重く受けとめて、細部まで詰めていきたい。

Q 公契約条例策定、一歩進んだ見解は

A 研究課題として認識している

質問

全京都建築労働組合のアンケート（2017年）では、設計労務単価は上がっているが、支払われる賃金が少ない・乖離があるとの意見がある。

本町の工事で、賃金と違うじゃないかとかいうことにならないために公契約条例が必要では。

行財政課長

適正な労働条件の確保は労働者、



公契約条例策定で労賃を明確に

発注者側、また、受注者側にとつて重要なものと考えている。

先行自治体の例も参考にしつつ、特に賃金などがおり込まれているところだが、課題等も分析し、条例制定の必要性を見極めたい。

質問

本町発注の工事で、労務単価は、情報公開を求めなければ知ることができない状況だ。検討より一歩進んだ答弁をいただきたい。

行財政課長

契約関係の情報については、今後とも工事内容、入札の結果等については当然公表していこうとは思っている。

今現在、条例制定は、研究課題として認識している。

委員会視察  
先進地に学ぶ

総務事業常任委員会

7月17日から19日の3日間、6次産業化（※）の取組み、道の駅やまちづくり事業について行政視察をおこなった。

津幡町（石川県）

6次産業化の取組み

津幡町は、人口3万7608人、面積111km<sup>2</sup>。昭和39年に1町6村が合併した。

6次産業化推進事業補助金では、町産の農林水産物を活用し、1次産業の担い手である農業者が、自ら、あるいは食品事業者などの2次・3次産業の事業者などと連携しながら、その付加価値を高め、消費者に提供する6次産業化をおこない、農商工連携や地産地食の取組みを推進することで地域活性化を図っている。

対象事業はソフト事業で、加工



津幡町にて

品開発・販路拡大で、補助額は10万円以上50万円以内。ハード事業は、加工・販売施設等設備で、補助額は10万円以上300万円以内とし、平成28年度からはじまり、その実績は、ソフト事業の2件となっている。

※6次産業化：農林水産業者が生産（1次）、加工（2次）、販売（3次）まで一体的に取組むこと。

白山市（石川県）

道の駅「めぐみ白山」事業

白山市は人口11万3529人、面積755km<sup>2</sup>。石川県全域の18%



道の駅めぐみ白山

を占め、市町村域として県内最大の道の駅めぐみ白山は、国と市の一体型整備で、面積は2万9294m<sup>2</sup>、事業期間は平成25年度から5年間で今年4月27日にオープンした。事業費は市が14億円と国土交通省は10億円で併せて24億円。管理運営者は、株式会社めぐみ白山で、地域振興と活性化の拠点として、市内の各種団体によるオール白山体制で、第三セクター方式の「株式会社めぐみ白山」を設立。運営方式は、施設全体の管理を、株式会社めぐみ白山がおこなう、収益部門はテナント方式を採用し、市の指定管理料2000万

円と、賃料収入による管理運営。レストラン・地場産品売り場があり、現地視察もおこなった。

小矢部市（富山県）

おやべ型1%まちづくり事業

小矢部市は、人口3万177人、面積135km<sup>2</sup>。砺波平野にあり石川県境に位置している。

おやべ型1%まちづくり事業は、地域の活性化や特色あるまちづくりの推進のため、市民自らが考え、みんなで一緒に行動する事業に対し、個人市民税1%に相当する額を財源に補助金を交付する事業。

平成21年度から実施され、補助対象者は市内に事務所及び活動場所がある団体としている。

補助額は、新規事業には30万円、既存事業には15万円。

新規事業の実績では、平成29年度は2団体、平成30年度は3団体である。

課題では、若い担い手が不足して高齢化も進んでいる。また、新規の申請団体は減少傾向にあると説明をうけた。

今回の視察研修を、本町での町づくりの参考にしていきたい。

## 民生教育常任委員会

7月2日から4日の3日間、健康増進事業、移動困難者対策や公民館の運営管理についての行政視察をおこなった。

### 佐久市（長野県）

#### 食育推進を軸とした健康増進事業

佐久市は人口9万9096人、面積424km<sup>2</sup>。高齢化率29%で、健康都市「佐久市」として、医療関係者、市民、行政による地域医療、減塩運動など、健康都市を築いた。以前は、脳疾患死亡率が高く、脳卒中予防に、減塩運動などを掲げ、行政と病院で地域の保健指導員会



佐久市にて

を巻き込み「世界最高健康都市」の構築を目指した。事業は、ぴんころ運動推進事業や食育推進など、健康で長生きのためのヒントがあった。



ぴんころ地蔵（ぴんころ運動推進事業）

### 前橋市（群馬県）

#### 移動困難者対策（マイタク制度）

前橋市は人口33万7819人、面積312km<sup>2</sup>。市内全域の移動を公約に掲げ、平成28年1月には市全域に、移動困難者の外出機会と健康寿命を延ばすため、条件付きマイタク制度（デマンド相乗りタクシー）を始めた。

登録条件は前橋市の住民で

A…年齢75歳以上の方

B…年齢65歳以上で運転免許証の無い方

C…下記の①～⑦の該当者

- ① 身体障害者
- ② 知的障害者
- ③ 精神障害者
- ④ 発達障害者

- ⑤ 要介護、要支援認定者、介護予防・生活支援サービス事業対象者
- ⑥ 難病患者・小児慢性特定疾病患者
- ⑦ 妊産婦

D…運転免許証の自主返納者への支援は、1乗車につき最大500円利用可能な時間帯は、午前7時から午後6時までに乗車したもの。運休日なし。

利用はタクシー会社に予約し、年間上限回数120回（60往復）。

運行エリアは市全域で、課題は利用者増加と財政負担が多いこと。

この事業は、交通政策課が企画運営し、福祉関係部門は関与していないが、組織内の連携があれば素晴らしいものになると実感した。



前橋市にて

### 浜松市（静岡県）

#### 公民館の管理運営・あり方検討

浜松市は、人口80万5306人、面積1559km<sup>2</sup>。合併により資産経営推進方針を公表。施設評価を実施し、公共施設再配置計画基本方針を定めた。

また、1300施設の施設カルテをホームページに公表して、PDC Aサイクルを実行した。

協働センターは、地方自治区廃止後の区出先機関の再構築を進めるセンターとして設置。その機能は、窓口サービス、生涯学習、地域づくりの3つである。

最後に文部科学省優良公民館表彰を受けた、天竜協働センターの取組みの説明を受けた。

年間の総利用人数5万5487人、ホール100名、和室、料理教室、体育館などがあり、駐車場は60台利用可能である。

本町の公民館の課題と照らす中で、浜松市は、役所の出先機関としての機能が多く、久御山町では難しいと感じた。

# 緑風会

8月1日から3日までの3日間、不妊治療専門相談センターや公設民営による保育園運営、また吉野ヶ里遺跡の施設見学などの視察をおこなった。

## 福岡市（福岡県）

### 不妊治療専門相談センター

福岡市は、人口157万7973人の大都市で、不妊に悩む方に対して相談センターを設けている。



福岡市にて

不妊カウンセラーなどの専門職が、妊娠に伴うからだところの悩みや、不育に関する専門相談をすることができるとのこと。

本町でも専門医に相談できる施設を設けるように訴えていきたい。

## 白石町（佐賀県）

### 公設民営による保育園運営

人口2万3954人の白石町で視察をおこなった。

健康福祉課から白石町立保育園公設民営化の概要説明を受けた。

質疑応答では、元々は公設公営の保育園7カ所・民設民営こども園1カ所から、公設公営を1カ所残して3年間をかけて6カ所を公設民営にした。

町の保護者アンケートの結果、民営化に移行して満足度が上がったとの説明をうけた。

また、町は委託後の保育内容や運営状況の評価も公表しており、今後は全保育園を民営化していく方向性となっている。

## 高校生の議会傍聴

京都府立久御山高等学校の議会傍聴は今年で3年目になります。18歳選挙権に向けた主権者教育の一環で、2年生が対象です。

6月・9月定例会での一般質問を1クラス1時間程度、8クラス約320名が傍聴しました。

生徒たちは初めての傍聴に緊張しつつも、議員と町長などによる質疑・応答にメモをとりながら、真剣に聞きっていました。



2月号で特集記事（高校生のインタビュー）を掲載します。

## 編集後記

今夏は、異常な猛暑が続く中、地震や相次ぐ台風により久御山町でも甚大な被害をこうむりました。議会だよりは、被災された皆様にも、お役に立てる情報をスピード感をもって、掲載いたします。今後もお愛読いただきますよう、よろしくお願いいたします。

（松本義裕）

【広報広聴委員会】  
委員長 太裕 恵太  
委員 長 信貴 義憲  
副委員長 松本 浩嗣  
委員 松尾 孝司  
田口 芳一  
内田 悦子  
岩田 和子  
巽 戸川  
オブザーバー



# メッセー지가伝えられる指揮者に



**阪部慎太郎さん**  
34歳・佐山出身  
(現在ドイツ留学中)

京都プラスバンドの「レギュラーコンサート2018 (6/17)」で指揮する阪部さん

現在、ドイツの大学に留学中で、日本でもフランスでも本格的な指揮者を目指し活躍中の指揮者・阪部慎太郎さんに直撃インタビューしました。

☆ ☆ ☆

## 習うならバイオリン

阪部さんがバイオリンと出会ったのは、小学生の頃です。

サッカーか野球を勧める母親に「習うならバイオリンを習ってみたい」と答え、数日後には、辻田結城彦氏(宇治市)の教室に通いました。

久御山中学校から東宇治高校に進んだ阪部さん。当時は、考古学者になろうと考えていました。

そんな時、母親の知人でもあった吹奏楽部の指導者から「大太鼓奏者が足りない」と、誘いの声がかかりました。夏の間だけの補助のつもりでしたが、面白くなり、後に入部しました。

2年生の時には吹奏楽部の部長

として、顧問の先生が不在の時には指揮をすることもありました。

## 指揮者をやりたい!

ある日、テレビを見てみると、画面の中でタクトを振る指揮者を見た瞬間、「指揮者をやりたい!」と、自分の道を決めた阪部さん。

「22歳で音大を卒業し、ドイツに留学する」と、青写真を描き、それを実行してきました。

大阪音楽大学を卒業した阪部さんは、大植英次氏(きょうべん)が教鞭をとるドイツのハノーファー音楽演劇大学指揮科に留学し、本格的に指揮者の勉強を始めました。現在では、勉強のためフランスにも行きます。阪部さんは、多くの指導者や支援者に励まされてきました。

バイオリンを習った辻田氏は「音楽の基礎をつくった人」です。「底力のある指揮者になれ!お前の力が、歩を、と金にできる!」の松原清氏(オーボエ奏者)の言葉は、指揮者の「心得」として

つも心に刻み続けています。「会場で魅了する素晴らしいタクトでした。」は、聴衆の声です。「メッセー지가伝えられる指揮者になりたい!」挑戦はこれからも続きます。

(聞き手・広報広聴委員会)

## 表紙の「くみやま」を書いたのは堂本真央さんです。



久御山中学校が大好きな美術部の真央さん(3年)。町の野菜をイメージして書いてくれました。双葉(ふたば)神社近くで生まれ育ったこともあり、「町の好きな場所は双葉神社です!」と笑顔で答えてくれました。

